※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済　（山川出版）						
副教材等	自主製作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治とは何かについて考え，権力の正統性として法治主義の考えを理解する。

現代経済を貫いている基本的な原理や現代経済の機能を理解する。

国際政治、国際経済についての仕組みと現状について理解する。

２　学習の到達目標

広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深め，現代における政治，経済，国際関係などについて客観的に理解しているとともに，それらに関する諸課題について主体的に考察でき，公正な判断力を持ち，良識ある公民として必要な能力と態度を持っているか。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治経済への関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国家社会を形成する国民としての責務を果たそうとする。	現代の政治経済の諸課題を歴史的経過を踏まえ現状を考え、判断している。	政治経済関連の教科書等の統計資料、年表を理解し、活用している。	現代の政治経済に関する基本的な事柄に対して、知識を深め、理解しようとしている。
評価方法	レポートの提出 授業での発言・態度	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	民主政治と基本	政治と法	○	○		○	a:政治の意義に関心を持つ	定期考査
		民主政治の発展	○	○	○	○	b:民主主義についての思考	観察
		法の支配	○	○		○	c:資料の理解と活用	レポート提出
		権力分立	○	○	○	○	d:政治制度についての知識と理解	
		世界のおもな政治体制	○	○	○	○		
	日本国憲法と民主政治	日本国憲法の制定過程	○			○	a:日本国憲法に対する関心	定期考査
		恒久平和主義	○	○	○	○	b:憲法の原則に対する思考	観察
		国民主権	○	○	○	○	c:憲法の条文の活用	レポート提出
		基本的人権の尊重	○	○	○	○	d:日本国憲法に対する知識と理解	
		日本の政治制度			○	○		
	現代日本の政治	政党政治	○		○	○	a:現代日本政治に対する関心	定期考査
		選挙制度	○	○	○	○	b:現実の選挙についての思考	観察
		世論と政治参加	○	○	○	○	c:日本政治に関する資料活用	レポート提出
		マスメディア	○	○	○	○	d:日本の政治に関する知識を深める	
後期	現代の国際政治	国際社会と国際法	○			○	a:国際政治に対する関心	定期考査
		国際機関の役割	○		○	○	b:現実の領土紛争に対する思考	観察
		主権と領土問題		○	○	○	c:国際機関等の図版資料	レポート提出
		地域紛争と国際平和	○	○	○	○	d:国際政治問題に対する知識	
		国際平和と日本の役割	○	○		○		
	現代の経済と変化	経済の仕組み	○		○	○	a:経済に対する関心	定期考査
		資本主義･市場経済	○	○		○	b:現実の経済問題に対する思考・判断	観察
		国民経済と仕組み	○	○	○		c:経済の統計資料の活用と理解	レポート提出
		貨幣と金融		○	○	○	d:経済に関する知識と理解	
		国際経済の諸問題	○	○	○	○		
	日本経済の発展と課題	戦後の高度経済成長	○	○			a:日本経済に対する関心	定期考査
		農業問題	○	○	○	○	b:日本の経済問題に関する思考	観察
		労働問題	○	○	○	○	c:日本の経済諸課題に関する資料の活用と理解	レポート提出
		社会保障問題	○	○	○	○	d:日本経済の諸問題に関する知識と理解	
		環境問題		○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。